

# ぎょうむそくほう

No.705

2026年4月16日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>

## 【ダイジェスト】



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

## 経営協議会を開催

# 2026年度安全対策について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

JR東海ユニオンは、4月16日の経営協議会において「2026年度安全対策の推進」について会社から説明を受け、労使共通の最重要課題である「安全の確立」に向けた議論を展開した。

2025年度を振り返ると、鉄道運転事故では、当社の信頼が失墜するような重大インシデントの発生はなかったものの、重大な不安全事故が引き続き複数発生した。

労働災害では、関係会社作業員の感電死亡災害が発生したほか、複数の待避不良や墜落といった四大災害が相次いで発生しており、社員の労働災害の発生件数は過去10年で最多となった。これら労働災害の根絶に向けては、労使一体となった取組みの推進が必要不可欠である。

また、より安全な職場環境を実現するためには、アサーション（確認会話）を通じて心理的安全性を高めることが重要であると主張した。

会社は、2026年度運転事故防止及び労働災害防止重点実施事項として「**安心して意見を交わし、リスクの掘り起こしができる環境づくり**」を掲げており、議論においては、「**心理的安全性の高い職場・環境づくり**」に向けて、**管理側との距離感を縮められるような取組みをあらゆる場面で促進していく**方針を示した。

JR東海ユニオンは、「UNION FUTURE ⇒2027」に掲げる運動の柱「安全の確立」に向け、引き続きJR東海グループで働く全ての仲間の「死亡事故・重大労災ゼロ」実現のために不断に取り組んでいく。

### ◆2025年度 鉄道運転事故等及び労働災害の発生状況

○鉄道運転事故：30件（△2件）

（踏切障害事故11件 鉄道人身傷害事故19件）

✓JR東海起因の運転事故 0件

○インシデント：0件（±0件）

○異常運転：0件（△2件）

○労働災害：社員31件（+2件）、関係会社36件（+5件）

※退避不良、熱中症除く

✓四大災害 触車・待避不良5件、感電1件、墜落2件

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。